

東日本大震災からの10年ワークショップ 災害廃棄物対策の ふり返りと今後の展望



D.Waste-Net構成機関
国立環境研究所 災害環境マネジメント戦略推進オフィス 主催

2021

3/25 木

9:30-12:00

オンライン開催(Zoomウェビナー)

講演

東日本大震災以降10年の振り返り
大迫政浩
(国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター センター長)

パネルディスカッション

第1部「これまでの10年のあゆみと残された課題」
第2部「今後10年を見据えた地域との連携のあり方」
(パネルディスカッションや申込み方法等の詳細は裏面をご参照ください。)

参加無料
申込〆切
3/22

東日本大震災から10年を経た今、災害廃棄物対策のための制度や体制は大きく進化してきた。一方、気候変動による豪雨災害等の頻発化や社会の脆弱化など災害廃棄物問題を取り巻く状況は変化してきている。

本ワークショップは、様々な立場のパネリストと共に、東日本大震災以降の災害廃棄物対策について振り返り、この10年のあゆみと残された課題を把握し、今後の展望について関係者と共に議論する場をしたい。

国立研究開発法人
国立環境研究所
National Institute for Environmental Studies

9:30-9:50

「東日本大震災以降10年の振り返り」

大迫政浩(国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター センター長)

9:50-10:50

パネルディスカッション:第1部

「これまでの10年のあゆみと残された課題」

コーディネーター:高田光康(国立環境研究所 客員研究員)

パネリスト(五十音順)

- ・阿部勝彦(国立環境研究所 客員研究員)
- ・大川敏彰氏((公社)全国都市清掃会議 総務部長)
- ・小岩真之氏(中間貯蔵・環境安全事業(株) 中間貯蔵事業部 次長)
- ・鈴木雄一氏(東松島市 建設部下水道課 経営係長)
- ・宗 清生(国立環境研究所 災害廃棄物対策専門員)
- ・舟山重則氏((一社)日本災害対応システムズ 事務局長、仙台環境開発(株)経営企画部長)

11:00-12:00

パネルディスカッション:第2部

「今後10年を見据えた地域との連携のあり方」

コーディネーター:森 朋子(国立環境研究所 特別研究員)

パネリスト(五十音順)

- ・大瀧慎也氏(倉敷市 環境リサイクル局 リサイクル推進部 一般廃棄物対策課 課長代理)
- ・奥田幸宏氏(かつらぎ町役場 住民福祉課 統括専門員兼生活環境係長)
- ・佐藤翔輔氏(東北大学 災害科学国際研究所 准教授)
- ・庄司佳子氏(認定NPO法人アクト川崎 副理事長、CCかわさき 代表)
- ・多島 良(国立環境研究所 主任研究員)
- ・戸崎正裕氏((株)タクマ 国際本部 国際部 2課 副主幹)

【お申込み・お問合せ】 お申込み期限:3月22日(月)

お申込みフォーム(<https://project.nies.go.jp/events/dwasteinfows/>)より、お名前、メールアドレス、ご所属等を記載の上、お申込みください。後日、事務局よりZoomの接続情報をお送りいたします。ワークショップ事務局:E-mail dwasteinfo@nies.go.jp



お申込みフォーム